

1 はじめに

日高中学校は、現在344名の生徒が通う、伝統と活気あふれる学校である。校舎、体育館は新しく建て直され、全教室にプロジェクターが設置されており、生徒たちは素晴らしい環境の中で学校生活を送っている。学校教育目標は、「心豊かに健やかで、たくましく行動できる生徒の育成」となっており、本年度の重点目標として、「礼儀正しく、しっかりとしたあいさつができ、自分や他者の気持ちを大切にできる思いやりのある生徒の育成」が4つの柱の1つになっている。これらの背景を踏まえ、今年度は、学校課題研究として取り組む道徳科の授業とも関連しながら特別活動を行った。

2 資料

(1) あいさつ運動

礼儀正しく、しっかりとしたあいさつができる生徒の育成に向け、生徒会活動の一環としてあいさつ運動を行った。2学期には、各専門委員会と連携しながら実施した。3学期以降は、生徒会からの立案で、各部活動と共に実践することを中央委員会で計画し、生徒会通信で、部活動の活動日を知らせ、実践する予定である。部活動単位では、3年生も共に参加することを促し、部活動から離れた3年生も後輩と一緒に活動する良い機会になればと考える。

(2) 朝の校歌運動

日高中では、例年であれば、学校行事や集会時に校歌を歌う機会がある。しかし、現在は歌う機会が授業のみで、校歌に対する気持ちが離れてきていると感じる。生徒会役員の中から、歌う機会が少ないことも原因の一つであるという意見があり、「校歌を身近に感じてもらう」と、毎朝の登校時間に校歌を流すことにした。生徒会本部役員からは、「校歌」という存在が生徒に身近なものとなるよう、今後も他の取組を考えていきたいという意見が出ていた。

(3) いじめストップフォーラムの実施

自分や他者の気持ちを大切にできる思いやりのある生徒の育成に向け、日高中では、今年度放送によるいじめストップフォーラムを実施した。全校をあげて「いじめ撲滅のための標語」を考えたり、道徳科の授業と連携して関連する動画を鑑賞したりして、いじめを許さない気持ちを育むことができた。

3 成果と課題

- (1) 学校生活の様子から、あいさつを自主的にしようとする態度が身に付いた生徒が増えてきている。
- (2) 朝の校歌運動により、自然と校歌を口ずさむ生徒が増え、愛着をもてるようになってきている。
- (3) 全校で集まる機会がない中、放送やライブ配信を活用した活動を通して生徒の自主的な活動を促すことができた。
- (4) いじめストップフォーラムを実施したことにより、生徒のノートへのコメントや発表の様子から、いじめに対する意識を高めることができた。
- (5) 常時活動がなく、生徒の活動が少ない委員会があったので、教師と生徒で活動を考え実行することで、自主性を育てていく必要がある。